

東三條金藏寺御猿堂は青蓮院御門跡の院内なり、三猿の像は伝教大師の作。当寺の本尊は米地藏と号す、伝教

大師唐土より将来し給ふとなり。「むかし貧女ありて常に此尊像を崇敬する事年あり、菩薩これを感じ給ひて、糧乏

き時は米袋を持来つて夢中にあたへ給へり、故に永々貧窮をまぬかる、これによつて米地藏と号するなり」

尊勝院は南の丘にあり、本尊は元三大師の坐像にして自作なり。